

# 施策評価管理シート

2020(令和2)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	3	安全で安心なまちづくり		
	施策	3	消防・救急		

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 消防施設等の整備と隊員教育の充実を図り、消防対応力を強化します。
- 複雑・多様化する救急・救助事案に対応するため、救急・救助体制を強化します。
- 地域自主防災組織、民間防火組織及び事業所等と連携しながら、防火・防災意識の高揚を図るとともに、住宅用火災警報器の設置促進及び適切な点検と取り替えに係る広報啓発活動を強化します。
- 地域防災力の向上を図るため、消防団員の確保と消防団活動の充実強化を進めながら、消防団と自主防災組織との連携強化に取り組みます。
- 周辺市町村等との連携による消防広域応援体制を強化するとともに、「三重県消防広域化推進計画」に基づき、引き続き消防の広域化に取り組みます。

## 2. 令和元年度の取組内容及びその成果



- ・ 消防、救急、救助体制の充実強化を図るため、有利な起債事業を活用し、次の消防施設等を整備しました。  
常備消防…高規格救急自動車1台  
非常備消防…コミュニティ消防センター1棟、小型動力ポンプ2台、小型動力ポンプ軽積載車2台  
消防水利…耐震性貯水槽2基
- ・ 複雑、多様化する警防・救助事案に対応するため、警防・救助活動に係る教育プログラムに基づく訓練を実施し、令和元年度内において、若手職員(消防士長以下)一人あたり平均120時間の警防・救助訓練が行えました。
- ・ 3,600件を超える救急需要に対応するため、救急救命士の養成、救急ワークステーション等による救急隊員教育の充実、市立病院をはじめとする医療機関及びドクターヘリとの連携強化に取り組みました。
- ・ 近年、麻しん等の感染が問題となっていることから、抗体値検査の実施とワクチン接種の推進を行うとともに、感染防止対策の徹底を図るための研修を実施しました。また、年度末から、国内で新型コロナウイルス感染症が拡大したことから、職員や来庁者の感染防止対策に取り組むとともに、保健所や医療機関等との連携を密にし、感染患者の救急搬送等に備え、感染防護衣等を確保するなど必要な感染防止対策等に取り組みました。
- ・ 応急手当技術の普及を図るため、応急手当講習会の回数を増やすとともに、応急手当普及員の養成に取り組み、延べ3,645人の方に応急手当講習を受講いただきました。
- ・ AED協力事業所制度を更に広く周知し、有事の際、市民等がAEDの設置場所を容易に知りえる環境の充実に取り組みました。
- ・ 市広報、FMなばり、CATV等の広報媒体、各種行事・イベント等を活用し、住宅用火災警報器の設置促進と点検、取り替えに係る広報啓発に取り組みました。
- ・ 防火対象物、危険物施設に対する立入検査を強化し、令和2年度から導入の「消防法令等違反対象物に対する公表制度」の施行に向け、制度の周知と違反事項の是正に取り組み、制度施行前には違反公表対象物がゼロとなりました。
- ・ 消防団員の確保を図るため、近畿大学工業高等専門学校と連携協力し、学生の消防団員加入促進に取り組み、学生3名が消防団に入団しました。また、消防団活動で地域社会へ貢献した大学生等の功績を認証することにより、就職活動を支援することを目的とする「学生消防団活動認証制度」を導入しました。
- ・ 大規模災害の発生に備え、大規模災害時に消防団活動を支援していただく消防団活動協力員(大規模災害協力員)を募集し、58名の方に登録をいただきました。また、地域の防災訓練等を通じ、消防団、消防団活動協力員及び自主防災組織との連携強化に取り組みました。
- ・ 当市の消防力を超える大規模災害の発生に備え、「名張市消防受援計画」に基づく職員の行動計画の充実を図るため、市防災訓練において行動計画の実践訓練と検証を行いました。
- ・ 令和元年5月から、6消防本部(津市・鈴鹿市・亀山市・松阪広域・伊賀市・名張市)による通信指令業務の共同運用について勉強会を行いました。共同運用の開始予定が令和9年度と示されたことから、令和2年6月で整備から10年を経過する当消防本部の通信指令装置を令和9年度まで継続運用することは困難なため、単独で整備する方針として仕様等の調査検討を行いました。

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
救急救助体制が充実していると感じる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	60.3	
	成果	51.9	54.3	54.5				31.0%
3ヵ年平均出火率(件/万人)	目標	-	-	-	-	-	1.85	
	成果	1.88	2.40	2.75				0.0%
応急手当講習会受講者数【延べ数】(人)	目標	-	-	-	-	-	80,000	
	成果	60,372	64,111	67,756				37.6%

#### 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・厳しい財政状況が続く中においても、市民の安全・安心を確保することは自治体の最大の使命であることから、有利な起債事業等を活用しながら、通信指令施設、消防車両及び資機材並びに消防水利の整備に取り組む必要があります。中でも単独整備する通信指令装置については、早期に更新に係る事務に取り組む必要があります。
- ・訪日外国人などが増加している中、日本語が理解できない方からの緊急通報対策に取り組む必要があります。
- ・複雑・多様化する災害に対応するため、指揮活動及び警防・救助活動に係る教育訓練の強化に取り組む必要があります。
- ・年間3,600件を超える救急需要（平成30年度…3,735件、令和元年度3,637件）に迅速、的確に対応する必要があります。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、応急手当講習会の場所や受講者数を制限するなどの対策が必要となり、受講者数の減少が懸念されます。
- ・救急業務等において新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期する必要があります。
- ・住宅用火災警報器の更なる設置促進に向けた啓発に加えて、設置義務化から10年が経過したため、点検と取り替えについて重点的に啓発する必要があります。
- ・3ヵ年平均出火率が上がっており、特に近年、住宅や事業所等の建物火災が増加していることから、出火防止対策を強化する必要があります。
- ・消防団員不足が慢性化していることから、消防団員の確保に向けた新たな取組を進める必要があります。
- ・当市の消防力を超える大規模災害の発生に備え、消防受援体制の強化に取り組むとともに、地域防災の要となる消防団、消防団活動協力員及び自主防災組織との更なる連携強化に取り組む必要があります。
- ・大規模化、複雑化する災害に対応するため、県内消防本部、隣接消防本部、三重県防災航空隊等との連携強化に取り組む必要があります。

#### 5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容（令和2年度以降）



- ・消防、救急、救助体制の充実強化を図るため、有利な起債事業を活用し、次の消防施設等の整備に取り組めます。  
常備消防…化学消防ポンプ自動車1台、高規格救急自動車1台  
非常備消防…コミュニティ消防センター1棟、小型動力ポンプ軽積載車2台、小型動力ポンプ付軽搬送車1台  
消防水利…耐震性貯水槽1基
- ・若手隊員の訓練時間の確保を図り、継続して警防・救助活動に係る教育訓練の充実強化に取り組めます。
- ・訪日外国人など日本語が理解できない方からの緊急通報に対応するため、専門のオペレーターを介した三者間通話による「多言語同時通訳」の導入に取り組めます。
- ・年間3,600件を超える救急需要に対応するため、救急救命士の養成、救急ワークステーション等による救急隊員教育の充実、市立病院をはじめとする医療機関及びドクターヘリとの連携強化に取り組めます。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応として、まずは職員の感染防止対策の徹底に取り組むとともに、感染症患者の救急搬送等に備え、感染防護衣、マスク、ゴーグル、消毒液等の確保に取り組めます。また、感染拡大の状況に応じて、保健所や医療機関等と連携して必要な対策を講じます。
- ・感染防止対策を十分に講じた上で、一般市民を対象とした応急手当講習の受講機会を増やすとともに、引き続き、消防団、事業所及び学校関係機関と連携を図りながら応急手当普及員の養成に取り組めます。また、併せて、AED協力事業所制度を更に広く周知し、有事の際、市民等がAEDの設置場所を容易に知りえる環境の充実に取り組めます。
- ・あらゆる機会を捉えて、住宅用火災警報器の設置促進と点検、取り替えに係る広報啓発の強化に取り組めます。また、出火防止対策として、事業所等への立入検査や火災予防広報の強化に取り組めます。
- ・「重大な消防法令違反対象物にかかる公表制度」の施行に伴い、防火対象物、危険物施設に対する立入検査を充実させ、違反是正指導の強化に取り組めます。
- ・地域における男性消防団員の不足が慢性化している中、女性消防団員や学生消防団員の加入促進に取り組むとともに、新たにラップ隊の発足に取り組めます。
- ・当市の消防力を超える大規模災害の発生に備え、「名張市消防受援計画」に基づく職員の行動計画の充実を図るため、引き続き市防災訓練において行動計画の実践訓練と検証を行います。また、引き続き、消防団活動協力員の確保に取り組むとともに、地域における防災訓練等を通じ、消防団、消防団活動協力員及び自主防災組織との連携強化に取り組めます。
- ・令和2年度で整備から10年が経過する通信指令装置の更新について、県内消防本部の導入状況、既存通信施設の一部活用、高度化する通信技術等を調査検討し、仕様作成に取り組めます。
- ・隣接消防本部や三重県防災航空隊等との合同訓練を実施し、消防広域応援体制の強化に取り組めます。

#### 【参考】施策を構成する主な事務事業

※R2予算額は、R2.6月補正時の予算額

事務事業 シートNO	事業名	担当室	事業費（単位：千円）			
			R1決算 見込額	うち 一般財源	R2 予算額	うち 一般財源
4033	高規格救急自動車整備事業	救急室	28,288	1,088	30,662	862
4034	小型動力ポンプ購入事業	消防総務室	3,413	213	0	0
4035	消防ポンプ自動車等整備事業	消防救助室	0	0	64,053	3,053
4036	消防団拠点施設整備事業	消防総務室	16,513	1,513	27,641	241
4040	耐震性貯水槽設置事業	消防救助室	20,164	64	10,589	89
4070	小型動力ポンプ積載車等購入事業	消防総務室	9,844	744	14,707	2,007
5037	消防施設費	消防救助室	1,097	1,097	1,230	1,230
6091	常備消防費	消防総務室	80,286	78,942	82,999	77,615
6092	非常備消防費	消防総務室	66,459	51,822	66,429	54,818
合計			226,064	135,483	298,310	139,915

# 事務事業シート

(R.2)No.	4033	(R.1)No.	4033
----------	------	----------	------

事務事業名	高規格救急自動車整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	救急室	川口 賀典	

会計区分	事業コード	454001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 消防費	高規格救急自動車整備事業	
項 消防費	(小事業名)	
目 消防施設費	高規格救急自動車整備事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり	
	施策	3 消防・救急	
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
救急業務に万全を期することを目的とします。
事業内容
高規格救急自動車等の更新計画に基づき、整備・更新します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)			R.4年度(事業計画)		R.5年度(事業計画)	
	主な事業の実績・計画	【防災対策事業債】 高規格救急自動車 1台更新  備品購入費 28,215,000円 旅費 8,040円 手数料 12,230円 保険料 20,352円 公課費 32,800円		【緊急防災・減災事業債】 高規格救急自動車 1台更新  備品購入費 3,0580,000円 旅費 10,000円 手数料 15,000円 保険料 24,000円 公課費 33,000円		-			【緊急消防援助隊整備費補助金(国庫補助)】 高規格救急自動車 1台更新  31,200千円		-

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		28,288千円		30,662千円		31,200千円	
内訳(千円)							
国・県支出金						12,000	
地方債		27,200		29,800		18,200	
その他( )							
一般財源		1,089	0	862	0	1,000	0
人工数							
職員		0.20人		0.20人		0.20人	
臨時職員等		0.00人		0.00人		0.00人	
②概算人件費	0千円	1,500千円	0千円	1,500千円	0千円	1,500千円	0千円
①+②総事業費	0千円	29,788千円	0千円	32,162千円	0千円	32,700千円	0千円

# 事務事業シート

(R.2)No.	4034	(R.1)No.	4034
----------	------	----------	------

事務事業名	小型動力ポンプ購入事業		
担当部局名	消防本部	担当室名	消防総務室
		室長名	宮阪 昇

会計区分	一般会計	事業コード	452901
		(中事業名)※予算書事業名	
款	消防費	小型動力ポンプ購入事業	
項	消防費	(小事業名)	
目	消防施設費	小型動力ポンプ購入事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり	
	施策	3 消防・救急	
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	迅速・確実な初期消火活動及び防御活動に万全を期することが可能となる小型動力ポンプの更新により、地域住民の安心と安全の確保を目的とします。
事業内容	消防団が消火活動のために使用する小型動力ポンプを更新計画に基づき、老朽化の著しいものから順次更新します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)		R.4年度(事業計画)		R.5年度(事業計画)	
	主な事業の実績・計画	【防災対策事業債】 【行政改革推進債】 小型動力ポンプ 2台更新 (蔵持分団芝出班、美旗分団西原班)  B-3級 2台 1,706,400円×2		—		—		【防災対策事業債】 【行政改革推進債】 小型動力ポンプ 2台更新  B-3級 2台 @1,738,500円×2		【防災対策事業債】 【行政改革推進債】 小型動力ポンプ 2台更新  B-3級 2台 @1,738,500円×2

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		3,413千円		0千円	0千円	3,477千円	3,477千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債		3,200				3,300	3,300
その他( )							
一般財源	0	213	0	0	0	177	177
人工数							
職員		0.10人		0.00人	0.00人	0.10人	0.10人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	750千円	0千円	0千円	0千円	750千円	750千円
①+②総事業費	0千円	4,163千円	0千円	0千円	0千円	4,227千円	4,227千円

# 事務事業シート

(R.2)No.	4035	(R.1)No.	4035
----------	------	----------	------

事務事業名	消防ポンプ自動車等整備事業		
担当部局名	消防本部	担当室名	消防救助室
		室長名	中嶋 啓之

会計区分	一般会計	事業コード	452202
		(中事業名)※予算書事業名	
款	消防費	消防ポンプ自動車等整備事業	
項	消防費	(小事業名)	
目	消防施設費	消防ポンプ自動車等整備事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり	
	施策	3 消防・救急	
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	警防業務全般について万全を期することを目的とします。
事業内容	消防ポンプ自動車等を更新計画に基づき、整備・更新します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)			
	主な事業の実績・計画	—	【緊急防災・減災事業債】 消防ポンプ自動車(化学車Ⅱ型)1台更新 64,053,000円  備品購入費 63,908,000円 旅費 53,000円 手数料 21,000円 保険料 41,000円 公課費(重量税) 30,000円			
			R.3年度(事業計画)		R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
			—	—		はしご車オーバーホール 1台 48,406,000円

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費				64,053千円			48,406千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債				61,000			
その他( )							
一般財源	0	0	0	3,053	0	0	48,406
人工数							
職員				0.20人			0.20人
臨時職員等				0.00人			0.00人
②概算人件費	0千円	0千円	0千円	1,500千円	0千円	0千円	1,500千円
①+②総事業費	0千円	0千円	0千円	65,553千円	0千円	0千円	49,906千円

# 事務事業シート

(R.2)No.	4036	(R.1)No.	4036
----------	------	----------	------

事務事業名	消防団拠点施設整備事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	消防総務室	宮阪 昇	

会計区分		事業コード	454201
一般会計		(中事業名)※予算書事業名	
款	消防費	消防団拠点施設整備事業	
項	消防費	(小事業名)	
目	消防施設費	消防団拠点施設整備事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり	
	施策	3 消防・救急	
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
地域の防災拠点施設として整備し、災害対応の強化を図ります。
事業内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団の拠点施設である消防ポンプ庫及びコミュニティ消防センターの整備を行います。</li> <li>老朽化した消防ポンプ庫等の改築を行います。</li> <li>農業集落排水施設及び公共下水道施設への接続を行います。</li> </ul>

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)			R.4年度(事業計画)		R.5年度(事業計画)	
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒田地区コミュニティ消防センター新築工事(更新)</li> <li>旧黒田地区消防ポンプ庫解体工事</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>井手・結馬・坂之下地区コミュニティ消防センター新築工事(更新)</li> <li>旧井手・結馬地区消防ポンプ庫解体工事</li> <li>旧坂之下地区消防ポンプ庫解体工事</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>コミュニティ消防センター更新 1棟</li> <li>旧消防ポンプ庫解体 2棟</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>消防ポンプ庫更新 1棟</li> <li>旧消防ポンプ庫解体 1棟</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>消防ポンプ庫更新 1棟</li> <li>旧消防ポンプ庫解体 1棟</li> </ul>
	工事請負費	14,923,700円	27,641,000円		28,000,000円			7,000,000円		7,000,000円	
	委託料	1,465,560円									
	手数料	44,500円									
	保険料	771円									
	負担金	78,100円									

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		16,513千円		27,641千円	28,000千円	7,000千円	7,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債		15,000		27,400	27,800	6,900	6,900
その他( )							
一般財源	0	1,513	0	241	200	100	100
人工数							
職員		0.30人		0.30人	0.30人	0.20人	0.20人
臨時職員等							
②概算人件費	0千円	2,250千円	0千円	2,250千円	2,250千円	1,500千円	1,500千円
①+②総事業費	0千円	18,763千円	0千円	29,891千円	30,250千円	8,500千円	8,500千円

# 事務事業シート

(R.2)No.	4040	(R.1)No.	4040
----------	------	----------	------

事務事業名	耐震性貯水槽設置事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	消防救助室	中嶋 啓之	

会計区分	事業コード	454901
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 消防費	耐震性貯水槽設置事業	
項 消防費	(小事業名)	
目 消防施設費	耐震性貯水槽設置事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり	
	施策	3 消防・救急	
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	耐震性貯水槽の適正配置で、消防水利の多様化を推進し、震災時における確実な水利確保と水利不便地の解消を図ります。
事業内容	耐震性貯水槽を消防水利整備計画に基づき設置します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)			
		【緊急防災・減災事業債】 耐震性貯水槽整備 (40㎡型×2基)	黒田地内 10,166,040円 夏見地内 9,997,900円	【緊急防災・減災事業債】 耐震性貯水槽整備 (40㎡型×1基)	滝之原地内 10,589,000円	【消防防災施設整備費補助金(国庫補助)】 【一般補助施設整備等事業債】 耐震性貯水槽整備 (40㎡型×2基)	20,000,000円	【防災対策事業債】 耐震性貯水槽整備 (40㎡型×1基)	10,000,000円	【消防防災施設整備費補助金(国庫補助)】 【一般補助施設整備等事業債】 耐震性貯水槽整備 (40㎡型×2基)

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		20,164千円		10,589千円	20,000千円	10,000千円	20,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金					5,486		5,486
地方債		20,100		10,500	14,500	10,000	14,500
その他( )							
一般財源	0	64	0	89	14	0	14
人工数							
職員		0.20人		0.10人	0.20人	0.10人	0.20人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	1,500千円	0千円	750千円	1,500千円	750千円	1,500千円
①+②総事業費	0千円	21,664千円	0千円	11,339千円	21,500千円	10,750千円	21,500千円

# 事務事業シート

(R.2)No.	4070	(R.1)No.	4070
----------	------	----------	------

事務事業名	小型動力ポンプ積載車等購入事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
消防本部	消防総務室	宮阪 昇	

会計区分	事業コード	452504
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 消防費	小型動力ポンプ積載車等購入事業	
項 消防費	(小事業名)	
目 消防施設費	小型動力ポンプ積載車等購入事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり	
	施策	3 消防・救急	
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
迅速・確実な初期消火活動及び防御活動に万全を期することが可能となる小型動力ポンプ積載車等の更新を行うことで地域住民の安心・安全の確保を目的とします。
事業内容
消防団が消火活動等のために使用する小型動力ポンプ積載車等を更新計画に基づき、老朽化の著しいものから順次更新します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	<p>【緊急防災・減災事業債】 小型動力ポンプ軽積載車 2台更新 (薦原分団西田原班、美旗分団東田原班)</p> <p>備品購入費 4,881,800円×2 手数料 6,160円×2 保険料 27,603円×2 公課費 6,600円×2</p>	<p>【緊急防災・減災事業債】 ・小型動力ポンプ軽積載車 2台更新 (薦原分団八幡班、箕曲分団青蓮寺班) ・小型動力ポンプ付軽搬送車 1台新規 (錦生分団 井出・結馬・坂之下班)</p> <p>14,707,000円</p>



R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
<p>【防災対策事業債】 【行政改革推進債】 ・小型動力ポンプ軽積載車 1台更新 ・小型動力ポンプ軽搬送車 1台新規</p> <p>8,150,000円</p>	<p>【防災対策事業債】 【行政改革推進債】 小型動力ポンプ軽積載車 2台更新</p> <p>9,845,000円</p>	<p>【防災対策事業債】 【行政改革推進債】 小型動力ポンプ軽積載車 2台更新</p> <p>9,845,000円</p>

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		9,844千円		14,707千円	8,150千円	9,845千円	9,845千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債		9,100		12,700	7,400	9,100	9,100
その他( )							
一般財源	0	744	0	2,007	750	745	745
人工数							
職員		0.10人		0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	750千円	0千円	750千円	750千円	750千円	750千円
①+②総事業費	0千円	10,594千円	0千円	15,457千円	8,900千円	10,595千円	10,595千円



# 事務事業シート

(R.2)No.	5037	(R.1)No.	5037
----------	------	----------	------

事務事業名	消防施設費		
担当部局名	消防本部	担当室名	消防救助室
		室長名	中嶋 啓之

会計区分	一般会計	事業コード	452001
		(中事業名)※予算書事業名	
款	消防費	消防施設費	
項	消防費	(小事業名)	
目	消防施設費	消防施設費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり	
	施策	3 消防・救急	
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	消防施設を適切に維持・管理し迅速・確な災害対応を行います。
事業内容	消防水利施設の維持・管理経費として、防火水槽等を維持管理していくため、消耗品の購入や修繕等を行います。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)	R.2年度(事業量・取組計画)	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)	R.5年度(事業計画)
	防火水槽改修 標柱標識板改修 施設維持管理消耗品 等	修繕料 1,048,700円 消耗品費 45,349円 原材料費 3,326円	防火水槽改修 標柱標識板改修 施設維持管理消耗品 等 1,230,000円	防火水槽改修 標柱標識板改修 施設維持管理消耗品 等 1,230,000円	防火水槽改修 標柱標識板改修 施設維持管理消耗品 等 1,230,000円

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		1,097千円		1,230千円	1,230千円	1,230千円	1,230千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債							
その他( )							
一般財源	0	1,097	0	1,230	1,230	1,230	1,230
人工数							
職員		0.20人		0.20人	0.20人	0.20人	0.20人
臨時職員等		0.00人		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
②概算人件費	0千円	1,500千円	0千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円	1,500千円
①+②総事業費	0千円	2,597千円	0千円	2,730千円	2,730千円	2,730千円	2,730千円

# 事務事業シート

(R.2)No.	6091	(R.1)No.	6091
----------	------	----------	------

事務事業名	常備消防費		
担当部局名	消防本部	担当室名	消防総務室
		室長名	八村 知成

会計区分	一般会計	事業コード	450601
		(中事業名)※予算書事業名	
款	消防費	常備消防費	
項	消防費	(小事業名)	
目	常備消防費	常備消防費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり	
	施策	3 消防・救急	
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	消防防災拠点として消防対応力の充実強化を図り、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
事業内容	消防施設・車両等の維持管理や研修による人員育成等を行い、常に24時間体制で複雑多様化する火災、救助事案と高度化する救急事案に対応します。また、火災予防啓発、応急手当の普及活動等を推進します。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)		
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防本部、消防署の運営</li> <li>主な経費は、消防施設・車両等の維持管理費、資格取得や研修等の負担金、消防備品の購入費、施設の光熱水費及び車両の燃料費等</li> </ul> <p>80,286,229円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>火災、救急、救助活動の実施 (R1年度)</li> <li>火災件数 21件</li> <li>救急件数 3,637件</li> <li>救助件数 39件</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防本部、消防署の運営</li> <li>火災、救急、救助活動の実施</li> </ul> <p>82,999,000円</p>	R.3年度(事業計画)	R.4年度(事業計画)
			<ul style="list-style-type: none"> <li>消防本部、消防署の運営</li> <li>火災、救急、救助活動の実施</li> </ul> <p>80,000,000円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防本部、消防署の運営</li> <li>火災、救急、救助活動の実施</li> </ul> <p>80,000,000円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防本部、消防署の運営</li> <li>火災、救急、救助活動の実施</li> </ul> <p>80,000,000円</p>

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		80,286千円		82,999千円	80,000千円	80,000千円	80,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金							
地方債				4,000			
その他( )		1,344		1,384	1,384	387	387
一般財源	0	78,942	0	77,615	78,616	79,613	79,613
人工数							
職員		0.80人		0.80人	0.80人	0.80人	0.80人
臨時職員等		0.40人		0.40人	0.40人	0.40人	0.40人
②概算人件費	0千円	6,760千円	0千円	6,760千円	6,760千円	6,760千円	6,760千円
①+②総事業費	0千円	87,046千円	0千円	89,759千円	86,760千円	86,760千円	86,760千円

# 事務事業シート

(R.2)No.	6092	(R.1)No.	6092
----------	------	----------	------

事務事業名	非常備消防費		
担当部局名	消防本部	担当室名	消防総務室
		室長名	宮阪 昇

会計区分	一般会計	事業コード	451001
		(中事業名)※予算書事業名	
款	消防費	非常備消防費	
項	消防費	(小事業名)	
目	非常備消防費	非常備消防費	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち	事務事業に関連する市の計画
	基本施策	3 安全で安心なまちづくり	
	施策	3 消防・救急	
重点プロジェクト			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	地域防災の中心的な役割を担う消防団の充実強化を図り、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
事業内容	適切な消防団運営を行い、火災、風水害、地震等の災害に対応します。加えて、火災予防や応急手当の普及啓発など地域の安心、安全を確保するための活動を行います。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	R.1年度(事業量・取組実績)		R.2年度(事業量・取組計画)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団の運営費</li> <li>消防団車両の維持、管理</li> </ul> <p>66,458,651円</p>			<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団の運営費</li> <li>消防団車両の維持、管理</li> </ul> <p>66,429,000円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三重県消防操法大会出場 (コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)</li> </ul> <p>62,000,000円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団の運営費</li> <li>消防団車両の維持、管理</li> </ul> <p>62,000,000円</p>

	R.1年度(決算見込)		R.2年度(作成時予算額)		R.3年度(計画予算)	R.4年度(計画予算)	R.5年度(計画予算)
	H.30繰越分	R.1現年分	R.1繰越分	R.2現年分			
①直接事業費		66,459千円		66,429千円	62,000千円	62,000千円	62,000千円
内訳(千円)							
国・県支出金		3,261		947			
地方債							
その他( )		11,376		10,664	10,464	10,464	10,464
一般財源	0	51,822	0	54,818	51,536	51,536	51,536
人工数							
職員		0.70人		0.70人	0.70人	0.70人	0.70人
臨時職員等		0.40人		0.40人	0.40人	0.40人	0.40人
②概算人件費	0千円	6,010千円	0千円	6,010千円	6,010千円	6,010千円	6,010千円
①+②総事業費	0千円	72,469千円	0千円	72,439千円	68,010千円	68,010千円	68,010千円